



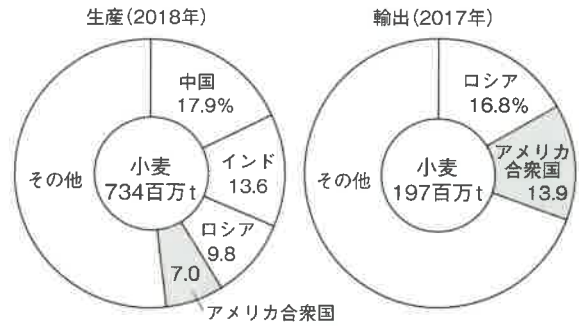
解答

- 1 (1) 冷帯(亜寒帯) (2) パイプライン
- 2 (1) ナイル (2) カカオ  
(3) レアメタル
- 3 (1) ロッキー (2) ヒスパニック
- 4 (1) 適地適作  
(2) ① 小麦 ② とうもろこし  
(3) サンベルト (4) シリコンバレー
- 5 (1) 多国籍 (2) NAFTA
- 6 (1) アンデス  
(2) ① マチュピチュ ② スペイン
- 7 (1) コーヒー (2) ラプラタ  
(3) ① 鉄鉱石 ② ポーキサイト
- 8 (1) ① アボリジニ ② イギリス  
(2) マオリ
- 9 (1) ① 第一次 ② 羊毛  
(2) 石炭
- 10 (1) イギリス  
(2) APEC(アジア太平洋経済協力会議)

解説

- 1 (1) ロシアは、ヨーロッパとアジアにまたがる広大な国。面積は世界一で、日本の約45倍。国土の大部分は、冷帯(亜寒帯)に属している。  
(2) 国内で生産される原油や天然ガスの多くは、おもにパイプラインを通してEU諸国に輸出されている。
- 2 (1) ナイル川は、アフリカのビクトリア湖付近から北へ流れ、地中海へ注ぐ世界最長の河川で、長さは6650kmもある。定期的に洪水をおこし、肥沃な土を下流域に運ぶため、古代エジプト文明がおこった。  
(2) カカオの生産量は、コートジボワールとガーナで世界の約半分をしめている。  
(3) コバルトなどのレアメタル(希少金属)はスマートフォンなどの電子機器に多く使われ、重要性を増してきている。
- 3 (1) 北アメリカ大陸を南北に走る、全長約4500kmの大山脈で、環太平洋造山帯に属している。  
(2) メキシコやキューバ、プエルトリコなど、ラテンアメリカのスペイン語を話す国々から移住してきた人々をヒスパニックという。
- 4 (2) グレートプレーンズの北部には春に種をまき、秋に収穫する春小麦地帯、中部には秋に種をまき、初夏に収穫する冬小麦地帯がある。中央平原の中部にはコーンベルトとよばれるとうもろこし地帯がある。

参考 小麦の生産量と輸出量にしめる割合



(3) 北部の寒く雪の多いスノーベルトに対して、太陽のふりそそぐ温暖な地帯という意味でサンベルトとよばれる。広い工業用地と安い労働力を得られることから、急速に工業化が進んだ。

5 日本は有数の貿易相手国であるが、日本からの輸入額が日本への輸出額を大きく上回り、日米間に貿易摩擦が生じている。

●アメリカの貿易額(2018年)

輸出(百万ドル)		輸入(百万ドル)			
1	カナダ	298,901	1	中国	539,503
2	メキシコ	265,010	2	メキシコ	346,528
3	中国	120,341	3	カナダ	318,481
4	日本	74,967	4	日本	142,596
5	イギリス	66,228	5	ドイツ	125,904
6	ドイツ	57,654	6	韓国	74,291
7	韓国	56,344	7	イギリス	60,812

(2020/2021年版「世界国勢調査」)

- 6 (2) ラテンアメリカの先住民であるインディヘナ(インディオ)は、マヤ文明やインカ文明を築きあげて栄えていた。しかし、16世紀になるとスペイン人やポルトガル人が銀や農作物を求めて侵略し、武力による先住民の大量虐殺を行ったため、文明がまるごと滅ぼされてしまった。
- 7 (1) ブラジルには、日本からの移民が多く、現地で成功している二世や三世もいる。一方、日本国内の工業地域ではブラジルからの日系人も少なくはない。
- 8 (1) アボリジニは、イギリス人が入植するはるか以前からオーストラリア大陸で狩猟生活を送ってきた先住民。現在は、定住している人が多い。
- 9 (1) 羊毛の輸出量は世界第1位。

生産(千t)		輸出(千t)			
2018年		2017年			
1	中国	250.1	1	オーストラリア	216.8
2	オーストラリア	231.6	2	ニュージーランド	86.5
3	ニュージーランド	76.8	3	イギリス	30.9
4	イギリス	42.4	4	南アフリカ共和国	30.7
5	トルコ	38.6	5	トルコ	22.1

(2020/2021年版「世界国勢調査」)

10 (2) もともとイギリスの植民地であったため、本国との結びつきが強かったが、現在は、日本との貿易額が増え、石炭、鉄鉱石、肉類などを日本へ輸出し、自動車、機械類、コンピュータなどを日本から輸入している。



## 解答

- 1 (1) ① 植民地 ② プランテーション  
③ レアメタル (2) モノカルチャー経済
- 2 (1) ① 北アメリカ：ロッキー山脈  
南アメリカ：アンデス山脈  
② 北アメリカ：エ  
南アメリカ：ア
- (2) ① H ② A
- 3 (1) 小麦 (2) ア (3) サンベルト  
(4) 記号：エ 都市名：ニューヨーク
- 4 (1) A イ B オ (2) 白豪主義

## 解説

- 1 (1) 植民地時代のプランテーション農業では、カカオ、綿花、コーヒー、茶を栽培し、ヨーロッパなどに輸出していた。また、アフリカは鉱産資源が豊富で、植民地時代から主要な輸出品であった。レアメタル(希少金属)は、スマートフォンのような電子機器に多く使われている。おもなレアメタルとして、コンゴ共和国のコバルト、南アフリカ共和国のマンガンやクロムなどがある。
- (2) 限られた農作物や鉱産資源の生産や輸出にかたよったモノカルチャー経済のもとでは、天候や景気によって価格が変動し、収入が不安定になりやすく、国の経済が打撃を受けやすいという問題がある。
- 2 (1) 北アメリカ大陸にはロッキー山脈、南アメリカ大陸にはアンデス山脈が南北に連なっている。両山脈とも環太平洋造山帯に含まれている。プレーリーはアメリカ合衆国の中央部からカナダにかけて広がっている草原で、世界的な小麦の産地となっている。パンパはラプラタ川流域に広がる草原で、牧羊・小麦栽培がさかんである。

## 参考 ロッキー山脈とアパラチア山脈

ロッキー山脈は地球の歴史のうえでは比較的新しい時期にできたもので、高くてけわしい。これに対して、アパラチア山脈は古い時期にできたもので、侵食が進み、低くなだらかである。

(2) ①は南アメリカ大陸のアルゼンチン。パンパとよばれる草原地帯では、牛や羊の牧畜が行われ、小麦やとうもろこしの栽培もさかん。

②はカナダで、世界第2位の面積。フランス系の住民は東部のケベック州に多い。アメリカ合衆国と政治的・経済的に深く結びついている。アメリカ合衆国との貿易額は第1位となっている。日本もカ

- ナダから石炭、肉類、木材などを輸入している。
- 3 (1) 地図中の①は春小麦地帯、②は冬小麦地帯。  
(2) 五大湖西部のスペリオール湖周辺は、鉄鉱石の産地で、その中心となっているメサビ鉄山では、大規模な露天掘りが行われている。  
(3) サンベルトは太陽の光にめぐまれた温暖な地帯という意味。アメリカ合衆国の工業は、五大湖沿岸で早くから重工業が発達した。それはスペリオール湖岸の鉄鉱石とアパラチア炭田の石炭を五大湖の水運で結びつけることができたからである。これに対し、1970年代以降、サンベルトの南部諸州に新しい工業地域がおこったのは、広い土地と安い労働力を利用できたからである。

## 参考 アメリカの工業

- ① 五大湖沿岸：ピッツバーグで製鉄、デトロイトで自動車、シカゴで農業機械・食品などの工業が発達している。
- ② 大西洋岸：ニューヨークから南の大都市周辺に広がる工業地域。フィラデルフィア、ボルティモアなどもふくめて、衣料、食品、出版などの工業がさかんである。
- ③ サンベルト：ヒューストンの石油化学工業や宇宙関連産業が有名である。ヒューストンとダラスを中心とする一帯は、シリコンプレーンとよばれ、先端技術(ハイテク)産業が集まっている。
- ④ 太平洋岸：シアトルで航空機などの工業が発達している。サンフランシスコ近郊のサンノゼ周辺はシリコンバレーとよばれ、電子工業などのコンピュータ関連工業が発展し、ICT(情報技術産業)関連企業が集中している。
- (5) ニューヨークはアメリカ合衆国最大の都市で、人口は約840万人。ウォール街には証券取引所、大銀行が集中し、世界の株式、金融の中心地である。また、国際連合の本部はニューヨークに置かれ、アメリカ合衆国の政治力が国際連合にあたえる影響も大きい。
- 4 (1) オーストラリアから日本への輸出は工業原料や農畜産物が多く、日本からの輸入は工業製品が多いという特徴がみられる。